

サニー(QG18DD)-スロットル制御について

- 適応車種:サニー(B15 型系)
- 適応エンジン:QG18DD
- 適応年式:平成 10 年 10 月～平成 14 年 5 月

上記車種は、電子制御スロットル又は、ECU(エンジンコンピュータ)のコネクタを取り外した場合、『スロットル全閉位置学習』を行なう必要があります電子制御スロットル又は、ECU(エンジンコンピュータ)を交換した場合は『急速 TAS 学習』を行なう必要があります。

また、アイドル回転数、点火時期が基準値から外れている場合にも『急速 TAS 学習』を行なう必要があります。以下に、学習要領を記載しますので、参考にしてください。

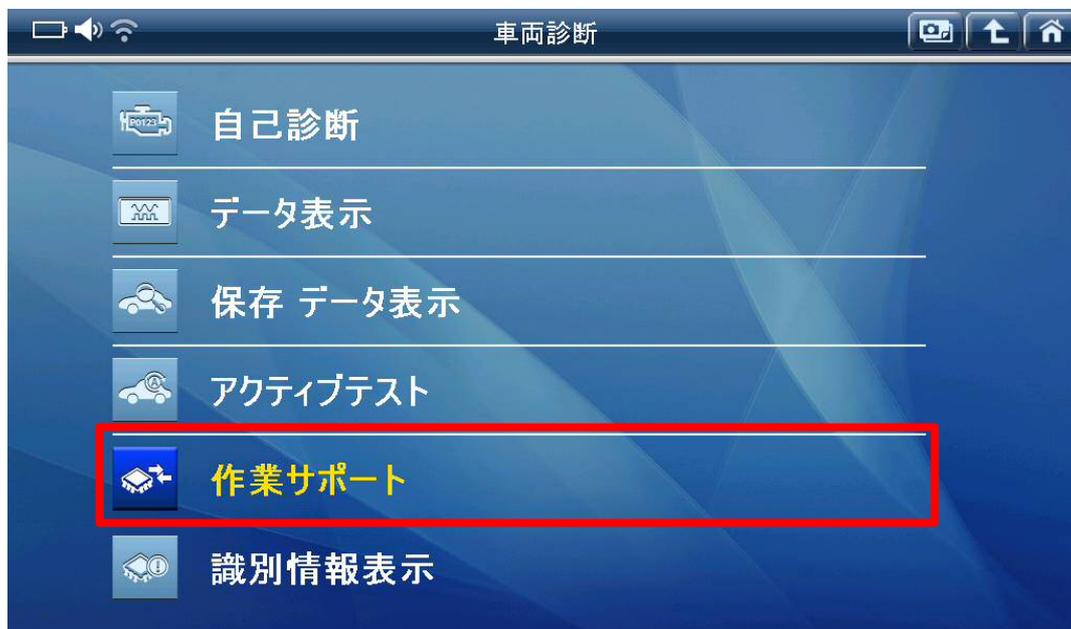
スロットル全閉位置学習要領

1. IG SW を ON→OFF にしてください。(IG SW OFF 後は約 5 秒間保持してください)
2. スロットルバルブが作動する(作動音)ことを確認してください。
3. 『スロットル全閉位置学習』が完了します。

急速 TAS 学習要領

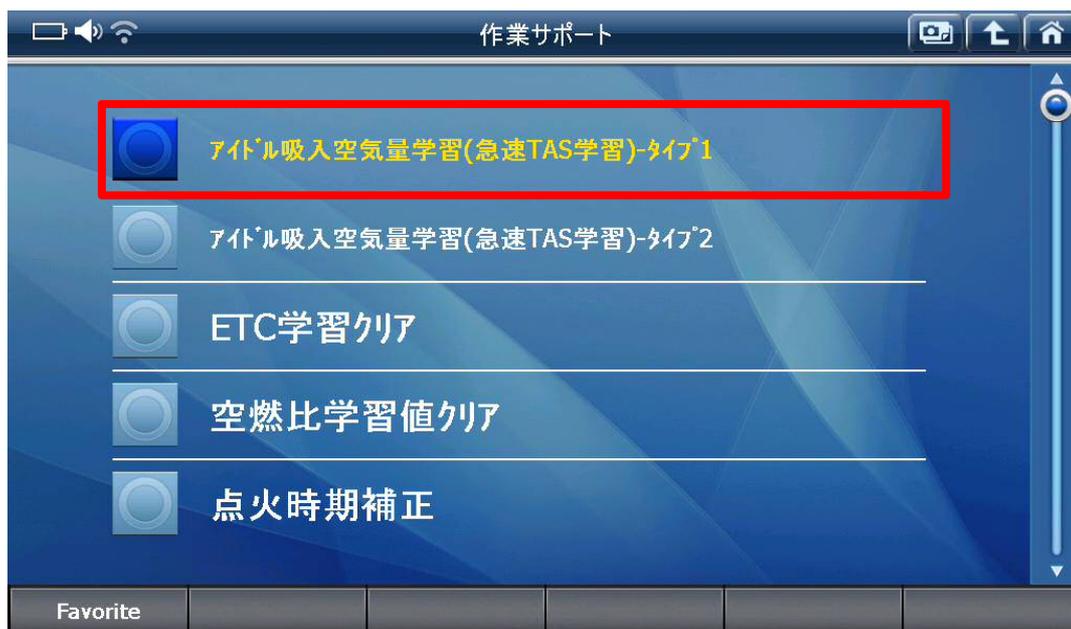
1. IG SW OFF の状態で診断コネクタ(OBD16 ピン)に G-scan を接続してください。
2. スロットル全閉位置学習を行なってください。
3. エンジンを始動し、水温が 70℃以上になるまで十分に暖機して下さい。
4. P、N レンジでエンジン無負荷状態(エアコン OFF、電気負荷 OFF、パワステ OFF)にしてください。

5. G-scan の電源を ON にして車種、システムを選択してください。
選択するシステムに関しては『エンジン』を選択してください。
6. 診断メニューが表示されます。『作業サポート』を選択してください。



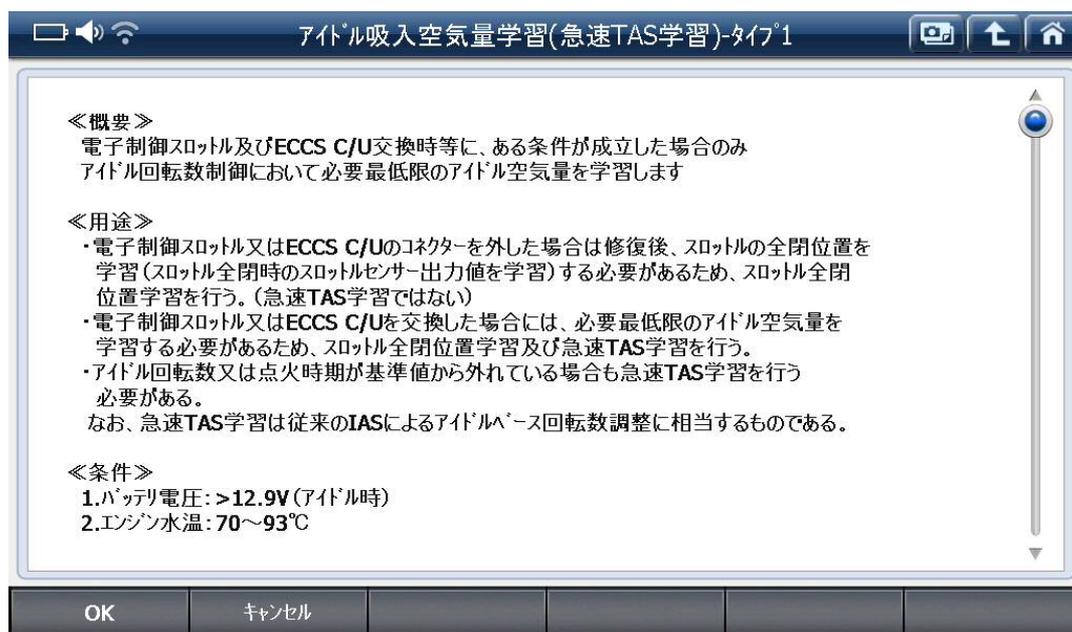
〈図: 作業サポートを選択〉

7. 『アイドル吸入空気量学習(急速 TAS 学習)-タイプ1』を選択してください。



〈図: アイドル吸入空気量学習(急速 TAS 学習)-タイプ1を選択〉

8. 内容をよく読み『急速 TAS 学習』を実行してください。



〈図:アイドル吸入空気量学習(急速 TAS 学習)-タイプ1の実行〉

9. 『急速 TAS 学習』が正常完了後、アイドル回転数、点火時期が基準値内であることを確認してください。

10. 基準値を外れている場合は再度『急速 TAS 学習』を行なって下さい。